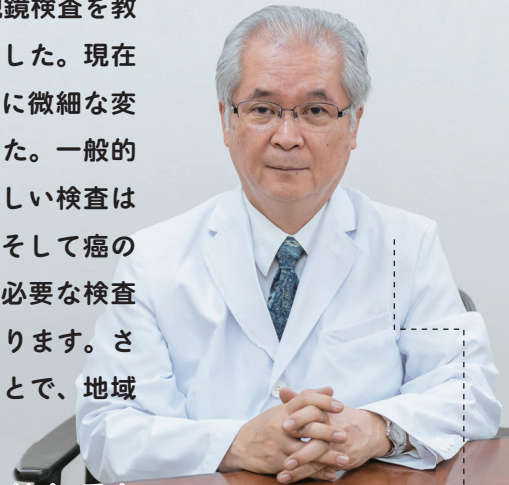


内視鏡センター開設。

苦しくない内視鏡検査を

38年前、まだファイバースコープの時代でしたが、私に胃の内視鏡検査を教えた指導医が大切にしていたことは「苦しくない内視鏡検査」でした。現在はビデオエンドスコープの時代ですが、内視鏡検査により、非常に微細な変化や肉眼では見えにくいものも見るできるようになりました。一般的に検査は患者さんにとっては怖いものです。ともすると痛く・苦しい検査は回避したいと思うのではないのでしょうか。しかし、正しい診断、そして癌の早期発見のためには、消化管内視鏡検査は非常に有用な検査で、必要な検査です。そのため、苦しくない内視鏡検査が求められる時代でもあります。さらに、早期発見・早期治療で精度の高い検査・治療を実践することで、地域の皆様に信頼される内視鏡センターを目指していきます。

内視鏡センター長 柏木 秀幸



《資格・その他》

日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本食道学会食道科認定医
日本消化管学会胃腸科専門医
日本腹部救急医学会腹部救急認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医

《略歴》

1978年 東京慈恵会医科大学卒業
2008年 東京慈恵会医科大学外科学講座教授
2012年 東京慈恵会医科大学客員教授
2017年 富士市立中央病院院長
2022年 富士市立中央病院名誉院長



◀ 最新の内視鏡システムを導入

OLYMPUS EVIS X1 は最新の画像処理システムを搭載しており、より詳細なスクリーニングから診断、処置までそれぞれのステップにおいて内視鏡診療の質を向上させます。



待合室



検査室